

みなみいせ 2016



36号

2016.2.1

議会だより



守っていききたい伝統!

— 竈方弓場式(相賀浦) —

主な
内容

平成27年 第4回	
12月定例会	2～3
一般質問	4～12
みんなのつぶやき	13
委員会報告	14～15
みんなでやっとなるで～ ほか	16

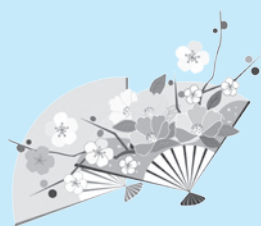
発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成27年第4回定例会

認定

12月8日から10日までの3日間で12月定例会が開催され、9月定例会において常任委員会へ付託された平成26年度各会計決算の委員長報告と認定決議をはじめ、平成27年度補正予算6件、条例の制定2件、条例の一部改正6件、その他の議案6件、諮問2件、同意1件、発議1件が審議されました。

また、一般質問では9人の議員が質問を行いました。



●平成26年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

山本 周也

手塚 征男

岡田 和夫

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

●平成26年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

●平成26年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

●平成26年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算

賛成多数

●平成26年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算

賛成多数

●平成26年度南伊勢町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

賛成多数

●平成26年度南伊勢町病院事業会計決算

賛成多数

●平成26年度南伊勢町上水道事業会計決算

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第7号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第8号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第9号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第10号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第11号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第12号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第13号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第14号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第15号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第16号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第17号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第18号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第19号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第20号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第21号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第22号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第23号)

賛成多数

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第24号)

賛成多数

議案

●平成27年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

賛成多数

●平成27年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

賛成多数

●平成27年度南伊勢町病院事業会計補正予算(第1号)

賛成多数

●南伊勢町認知症初期集中支援チーム検討委員会設置条例

賛成多数

●南伊勢町農薬委員会の選挙による委員の定数を定める条例の一部を改正する条例

賛成多数

●南伊勢町社会体育施設条例の一部を改正する条例

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●南伊勢町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

賛成多数

●南伊勢町農薬委員会の選挙による委員の定数を定める条例の一部を改正する条例

賛成多数

●南伊勢町社会体育施設条例の一部を改正する条例

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少に関する協議について

賛成多数

●和解及び損害賠償額の決定について

賛成多数

●町有財産の売却について

賛成多数

●平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第10号)

賛成多数

●平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第10号)

賛成多数

●平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第10号)

賛成多数

諮問

●人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2件)

久保 英喜

岡田 譲

異議なし

同意

●教育委員会委員の任命について

中井みち代

賛成多数

発議

●南伊勢町議会議規則の一部改正について

賛成多数

補正予算 主な質疑

獣害被害の減少を

問

議員 鳥獣害防止
総合対策費「報償
費」の増額理由は。

答

水産農林課長
当初予定より、多
くの害獣が駆除されてい
ることによる増額補正で
ある。



より良い整備を

問

議員 観光事業費
の「工事請負費」の
詳しい説明を。

答

観光商工課長
下津浦にある、観
光トイレの改修を行うも
の。



国際的な視野を

問

議員 教育総務費
の「高校生留学促
進事業補助金」の内容説
明を。

答

教育委員会
人材育成を目的と
した事業で、今回の補助
は、南伊勢高校南勢校舎
の生徒1名が、東南アジ
アの英語圏の国へ留学す
ることに対するものであ
る。

テーマは

若者定住と生涯現役 まちづくり政策監



掛橋 靖 議員



まだまだ若い者には

問 地方創生への取組方針として進めていくテーマ・キーワードは。

答 まちづくり政策監 創生の課題は「若者定住」と「生涯現役」。

その2つを大きなテーマと考えている。キーワードは、前者が「学校」「人材育成」「地域資源」「しごと」など、後者が「多様な就業環境」「コミュニティビジネス」「小さな

な拠点」「高齢者福祉のためのモビリティ」などとしている。

問 現状で支障となり得る課題は。

答 まちづくり政策監 人口が少ないという

ことは、実際の取組をしていくうえで、動ける人の数もリリーダ的な人材も少ないということ。これが一番の課題と捉えている。

新たな産業創出は

風土や気候を活かして 町長

問 人口流出と産業の衰退や教育全般との因果関係はあるか。

答 町長 各家庭において、保護者の仕事や住居、経済的なこと、進学・通学の利便性などの事情により、町外へ転出してしまいうケースもあると考えている。

問 基幹産業の再構築をめざすうえで、従来の産業再生と転換、そして新たな産業創出のキーワードは。

答 町長 気候や風土などの「自然」、資源としての「文化」、地域の「産業」など、当町が独自に持つ魅力や価値への気づきが大事と考える。そしてそれらを活かした当町ならではの農林水産業を構築していくことが大切。



わくわく体験



倉田 育 議員

交付税措置変更の影響は

減額となる 病院事務長

問 町立病院の地方交付税措置について、算定基礎となるものが「許可病少数」から「稼動病少数」に変更となるが、町立病院への影響とその対策は。

答 病院事務長 緩和措置が適用されるが、平成30年度から完全移行され、金額にして5,000万円程度の減額となる。非常に厳しい状況ではあるが、対策として、病床稼動数のさらなる向上と外来部門の充実強化など、収益構造の改善を図

るとともに、経費などの徹底した削減を行っていく。

問 看護師中途退職者の調査結果と改善方法は。

答 病院事務長 退職理由については、家族の転勤帯同、健康上の問題、労働条件のよい病院への鞍替え、自らの

理想とのギャップなど、それぞれの事情があり、一概には言えないというのが現状であった。方策として、院長と職員のフリートークや定期的な面談など、日頃からコミュニケーションを深めることや待遇面を含む労働環境の改善など、定着率の向上を図る努力をしている。



医療の要

4つの課題について

どれもしっかりと取り組む 教育長

問 教育大綱の策定に伴い、教育方針と、全国的にも課題とされている子どもたちの「学ぶ意欲の低下」「自尊心感情の低下」「規範意識の低下」「体力などの低下」へ対応した取組は。

答 教育長 目標達成のための主な事業や取組は、大綱に付随し

ている基本事業にうたっている。4つの課題については、「知・徳・体」のバランスが取れた教育の中でどれもしっかりと取り組んでいく。

問 特別支援教育の充実のために、教育施設などの環境整備の見直しも必要と感ずるが、

教育委員会の考えは。

答 教育長 障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるための適切な指導や必要な支援を行っている。



アジのある教育を

大切にしたいものは

人とのコミュニケーション まちづくり政策監



岡本 眞 議員

問

地方創生への取組がはじまり、当町においても地方創生総合戦略構想が進められているが、進捗状況と今後の予定、そして大切にしたいことは。

答

まちづくり政策監 目下、総合戦略を描き始めたところ。今後はその基本方針に沿って具体的な施策を決め、アクションプランを創っていく。また、キーワードは「ひと」。人を呼ぶのも「ひと」。人とのコミュニケーションを重要視し、人を呼び込めるひとが育つようなまちを創生していきたい。



キーワードは「ひと」

問

合併10周年を経て、小中学校が統廃合され教育環境のハード面の整備は進んだが、山積する課題解決には、教育の充実とソフト面を整備する必要があるのでは。

答

教育長 綱にあるように、子どもたちの夢の実現に向けて「知・徳・体」のバランスが取れた教育を進めている。学力・体力はもとより、自分や他者の命も心も大切にすることができ子どもたちを育てることも大切。また、

ソフト面の充実を

取組を進める 教育長

今後は学年や学区を問わずつながり合い、一人ひとりの子どもが集団の中で自分らしさを表現し、安心して生活できるように取組を進める。



自分らしさを表現



山本芳隆 議員

空き家対策は

早急な検討が必要 町長

問

防災の観点から、総務建設常任委員会で視察した2軒の特定空き家は、わずかな外圧で倒壊しそうな危険性を感じた。被災時の避難に支障が生じられると思われる対策は。

答

町長 生活に密着し立地する危険家屋は早急に修繕や除去の検討が必要。しかし、法的な手続きが必要であり、必要な手順を踏んで進めなければならぬ課題もある。まずは所有者への働きかけをおこない、それぞれ事案に見合った措置をとってもらう。所有者が履行しない場合や不明な場合は、空き家対策特別措置法に基づきそれぞれの事案で検討する。



事故が起きる前に

問

国政にて1億総活躍社会の実現にむけて、「新三本の矢」の具体的施策が発表されたが、当町における地方創生の基本的な考えとイメージは。

答

まちづくり政策監 地方創生では、人口減少と高齢化に対応したまちづくりを考え、変えるべきものは変えて地域を創生することを基本方針としている。そして、ひとの流れを変える戦略づくりや、まち・ひと・しごとの循環の改善、高齢者活躍の場づくりなど、

将来のイメージは

高齢者が活躍できるまち

まちづくり政策監

「ひと」に関わる重点戦略とする。また、「地域に開かれた教育環境で誇れる町」「高齢者が生涯現役で活躍できる町」を将来のイメージとしている。



活躍の場を

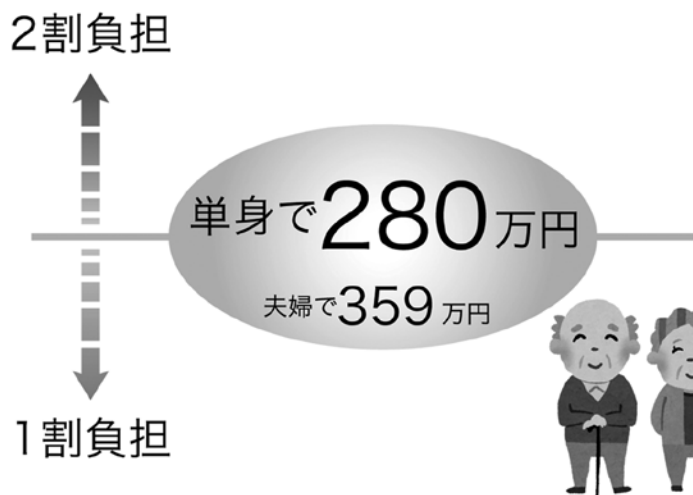
後退させないために

必要なサービスを 町長



手塚 征男 議員

利用者負担が2割になる世帯も



介護保険の利用者負担も変わる

問

国は介護保険の改革を進めている。社会保障では国の負担を削減し、地方自治体と住民の負担が増え、高齢者の介護サービスの後退が懸念される中で、町としての努力はどうか。

答

町長 今年度介護保険制度の大きな改革があったが、町としては制度改正の趣旨を理解していただくよう周知を図るとともに、介護サービスを後退させないように、必要な人に必要なサービスを届けられるよう努力を創っていく必要があると考えている。

問

地域振興の一つとして、町が関わって進めているブドウの試験的栽培。4年間の取組状況や中心となって事業を進めている会の努力内容。

答

町長 『南伊勢ワイナリーの会』と町との協働により、平成25年3月に欧州産苗木300本を定植。26年の夏には結実したが獣害により収穫まで至らず。27年は獣害対策に万全を期し被害はなかったが、6月の梅雨時期に「べと病」「うどんこ病」などの病気が発生し、結実した実が腐ってしまった。現状の

栽培状況は

現状では厳しい 町長



厳しい生育管理

その他の質問

- 南島西小学校高台移転問題について
- 地域振興・若者定住について

ままでは当町でのブドウ栽培は厳しい状況であるとの認識は持っており、今後の方向性について会の方々としっかり話し合っていきたい。



山本周也 議員

倒壊への対応は

特別措置法に基づいて 町長

問 5月に施行された「空き家対策特別措置法」への対応について、当町において所有者不明の物件を確定する手段と、確定した場合の対応は。

答 町長 特定空き家などの所有者については、区長や住民の方々に聞き取り調査を実施する。それでもわからない場合は、不動産登記簿による名義確認、住民票・戸籍謄本などによる住民や権利者の確認などといった調査をしていく考え。それらの調査をし

ても所有者が分からない場合には、所有者不明と確定する。

確定した場合の対応として、特別措置法に基づく略式代執行があり、改修や解体費用を町が負担することになるが、後に義務者が判明した場合、費用徴収をしたいと考えている。



空き家バンク取組強化も

問 平成26年度決算における歳出の一部支出に関し、不適切な会計処理があった。その原因に関して作成権限のある町職員が公文書を作成するにあたって、不適切な記入を行ったのではないかと疑いがあるが、これらの文書について町長の見解は。

答 町長 平成26年度の予算事業であった各介護保険福祉計画に係る印刷製本業務において、5月29日に物品が納入されたものを、3月31日に納品があったとする関係書類が作成された。一部事実と異なる内容の文書を作成したことについては、地方自治法及び会計規則上不適切な行為であったと認識している。8月20日に、わたしより

公文書の記入について

不適切であった 町長



再発防止・信頼回復を

南伊勢町職員懲戒審査委員長へ、本件業務の担当職員について懲戒審査要求を行った。審査報告を踏まえ、今後、慎重に懲戒処分を要否を決定したいと考えている。なお、同時に再発防止にむけた改善を進めていく。

その他の質問

- 真砂寮移転について
- 地域振興について

移転用地の決定理由は

円滑に進めるため 教育長



岡田和夫 議員

問

旧五ヶ所中学校跡地を国道260号線バイパス工事による町営住宅移転用地にしたいと説明があったが、町の将来のことを考えた場合に移転地は他の場所に決めるべきと考えるが。

答

教育長 国道260号事業について、船越工区の現状は、未改良区間で人家の中を縫うように通行していて非常に危険な状況となっている。伊勢建設事務所が現



安心安全な場所

道拡幅やバイパス検討を行い、バイパス計画で実施していくことと決定し、本年11月に地元説明会を実施し、町営住宅の移転候補地も合わせて計画させていただいた。バイパス工事を円滑に進めることが大切であることから、大切な町有財産である旧中学校跡地を苦渋の選択とし移転候補地として決定した。また敷地に余裕ができれば若者定住団地として活用していきたいとも考えている。

「和」の廃止理由は

民間事業者の充実により 町長

問

礪浦のデイサービスセンター「和」が来年3月末に廃止ということだが、今後ますます高齢化が進む中で南海地区唯一の施設を廃止する理由は。

答

町長 町が設置する社会福祉協議会のデイサービスセンター「和」は、事業が開始された当時は町内に同一の



地元で愛されてきた「和」

サービスを提供する事業所が2つしかなく、地域福祉に大きく貢献していた。しかしながら、現在の立地場所では海抜が低く津波の心配があること、また、民間事業者に重度の要介護認定者が利用できる機械浴槽が整備されてきたことから、訪問介護事業や新たに開始する総合事業など

を見据えて十分検討していくこととしている。現在利用していただいている方には、ご迷惑をかけないよう新たな受け入れ先との調整など社会福祉協議会と連携して進めていく。

その他の質問

- 地域包括ケアについて
- 町立病院について



田中喜一郎 議員

記念事業の総括は

大勢の人で賑わった 町長

問 当町が誕生して10周年。4月よりさまざまな記念事業が開催されたが、その総括は。



町をあげて盛大に

答 町長 昨年10月より、記念事業推進委員会を立ち上げ準備をし、「10周年 いかにして未来へ「南伊勢」をスローガンに町民一丸となってお祝いして頂くことを目的として推進してきた。その結果、従来の町主催のものだけでなく公募も含めて35の事業が計画され、町民の皆さんの手作りによるイベントが開催された。大勢の人に喜ばれ賑わう結果につながった。

問 28年5月には伊勢志摩サミットが開催される。この影響で宿泊施設の不足、移動時の制限などで伊勢志摩地域を避けて他の地域へ修学旅行先を変更されることが懸念されるが。

修学旅行対策は

キャンセル回避に努力 町長

答 町長 伊勢志摩サミット開催前後と、修学旅行の日程が重なることでキャンセルの発生と、来年以降戻ってこないとの懸念は観光関係者から出ていることは事実。「伊勢志摩学生団体



未来へつながる対策を

誘致委員会」を通じて、修学旅行の日程をずらしてキャンセル回避に努力している。さらに、伊勢志摩サミット開催を機会に付加価値の高い修学旅行企画商品をセールスし、学校やエージェン트에働きかけをしている。

その他の質問
● 地域包括ケア体制について

移転先は

中学校跡地を予定 町長



中山 盛 議員

問 真砂寮の移転先と決定の経緯は。

答 町長 移転先については旧南島西中学校の跡地、現在のさくら保育園横のグラウンドを予定している。また、経緯については、平成26年8月6日の「わたらい老人福祉施設管理者・副管理者会議」で、高台移転事業進行の了承を得て検討に入った。この時点

での整備予定地は旧南島中学校跡地であったが、進入路の確保について県とも協議を行い、様々な角度から検討した結果、現状では確保が難しく、建設予定地として27年度内の「基本計画及び基本設計業務」を完了する目途が立たなくなった。そのため近隣市町や町内のその他の候補地も検討した結果、「防災上の観点から緊急性を優先するべ

き」という考えのもと、町有地で十分な敷地面積をもち、進入路の確保がされている旧南島西中学校グラウンド跡地に整備を行うこととなった。このことは10月14日の全員協議会で説明を行い、その後南島地区の区長さんに説明のうえご理解いただき、11月4日には区長連絡協議会において全区長への説明をしたところとなっている。



安心・安全な高台へ

医師の確保は

常勤医3名で要望 町長

問 南島メディカルセンターの今後の医療体制、特に医師の確保について厚生連との話し合いは。

答 町長 医師の確保については、センターを新築移転し、指定管理制度により厚生連に管理委託を始めた当初から、常勤医3名の確保を管理者の果たすべき役割として強くお願いしてきているところ。難しい事情もあるが現在も同じく強く要望している。



一層の充実を

みんなのつばやき

■初志貫徹

去年の南伊勢町を振り返ってみると、移転や津波対策など、いろいろなことが中途半端で終わってしまっていたように思える。2016年は目標を達成できる環境を整えてもらい、住民の願いを1つでも多く叶えてくれるよう「初めに思い立った志を変えず、最後まで貫き通し」日々頑張っていてもらいたい。(70代男性)

■今年も元気で！

今年の正月3が日は本当に穏やかでええ日やった。世間ではサミットやらゆうて大変みたいやけど、今年も元気で仕事できたらええ。正月のような、静かな一年やったらええな。

(70代男性)



あなたもつばやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) / みんなでつばやきましょう。

思ったこと、感じてることを200字程度でつばやいて下さい。

※ハガキかFAXで送って下さいね。

〒516-0194

南伊勢町五ヶ所浦3057

議会事務局 宛

FAX 0599-66-2164

■思いっきりやらせたい！

中学校が統合して子どもがバス通学になりました。楽やけどクラブ活動の時間が短くなったと残念がっていました。スポ小から続けてきて、やっと満足に試合が出来るようになったのに残念がっています。(50代女性)

■春よ来い♪

この地に嫁いで25年。

くねくねした峠道も少しずつ、少しずつ良くなり、この春最後のトンネルが開通予定。

小学校、中学校のスクールバスはもちろんの事、町バスやデマンドバスも便利になるはず。

いつもより、春が待ち遠しい。春よ来い♪早く来い♪(40代女性)

更なる議会の活性化を目指して！

常任委員会・特別委員会

～より良いまちづくりのために調査・研究などの活動をしています～

今回の視察目的！

「子育て支援事業の充実」を計り、定住人口30,000人に向け総合戦略を作成しているとの事でした。



地方創生・人口ビジョン

当町同様に人口減少に悩む穴水町と人口が増えている内灘町を視察してきました。

◆穴水町は当町とよく似たりアス式海岸の半農半漁の過疎化が進む町で、人口推移は、現在8,800人、2040年には5,075人になると予想されています。「新規漁業就業者担い手支援事業・漁具等準備支援事業」を設け、現状打開に取り組んでいました。一例として、東京都から、移住してきた若者夫婦の話を聞きました。他には「能登中居博物館」を中心とした観光業、能登ワイン工場の視察研修を行いました。

◆金沢市のベッドタウンとして人口が増加し発展している内灘町は、金沢医科大学や病院がある町として、砂丘を宅地造成し、若者の流入促進を図り、人口増が達成されています。今後は「子育て支援事業の充実」を計り、定住人口30,000人に向け総合戦略を作成しているとの事でした。

総務建設常任委員会

町の財政・町税・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

私たちは11月19日、20日の二日間、地方創生への取組研究のために、石川県穴水町と内灘町を訪れました。

老人福祉とへき地教育

少子高齢化が進む課題を抱え、安心安全と熱心に教育に取り組む先進地を視察してきました。

◆初日は、携帯型高齢者緊急通報装置を導入し、一人暮らしの高齢者が安心して生活をおくっているという大野町を訪問し、町外に住む家族も安心できるというシステムを勉強しました。このシステムはコールセンターの職員を介して家族や役場職員と連絡をとるというもので、緊急時に所持者がブザーのストラップを引くことで、コールセンターに通報が届き、安否確認がされます。さらに、同時に家族などの登録者にはブザーが引かれた旨のメールが発信されます。

◆2日目は、白川村を訪問し、「全中学生へのタブレット貸与（授業の電子化）」についての話を聞きました。タブレットの導入には議会でも賛否両論があったとのことですが、これからの時代に即した子どもたちの教育を考え、また、実際に授業をする先生方や教育委員会の熱意を感じて、実用に踏み切ったところ、児童・生徒の学習意欲が向上したとのことでした。



教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険などの調査や審査を担当しています。

私たちは9月29日、30日の二日間、老人福祉とへき地教育充実への取組研究のために、岐阜県大野町と白川村を訪れました。

今回の視察目的！

◆二日目の久御山町議会は、議会だより表紙のタイトル「くみやま」を小学生低学年の児童に書いてもらったりして、町民の皆さんに親しみやすい表紙づくりにこだわっていました。より多くの町民の皆さんに興味を持ってもらえる誌面づくりを絶えず意識して、研究を重ねているとのことでした。

よりわかりやすく伝えること

広報誌コンクールで優秀賞を受賞している先進地2町を視察してきました。

◆初日の猪名川町議会は、わかりやすい「議会だより」の制作に努めており、県の広報誌コンクールにて優秀賞を受賞しています。手作りへのこだわりを第一に、子どもたちの声なども掲載し、町民に開かれた広報誌作成に工夫を凝らしていました。

私たちは11月25日、26日の二日間、議会広報の研究のために、兵庫県猪名川町と京都府久御山町を訪れました。

当委員会の活動内容

○議会だより「みなみいせ」年4回発行

- 定例会開催前から誌面の構成会議をおこない発行準備に取り掛かります。
- 定例会終了後から、原稿作成、写真撮り、レイアウト作成などをおこない、町民の皆さんから記事を集めたりします。
- 何度か校正を繰り返し発行します。

○年に一度、全国市町村議会主催の研修参加、または先進地視察をおこない、研究を重ねています。



■平成27年12月17日、18日の二日間、上村議長を団長に、副議長、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長の5名で、三重県庁、衆・参両議員会館、国土交通省へ陳情に行ってきました。



国交省にて江島政務官と

・国道260号東宮－河内間、通称三つ坂峠の早期改良工事着手への陳情活動をおこないました。三重県庁では鈴木知事、国土交通省では国土交通大臣政務官江島参議院議員に、三つ坂峠の厳しい道路事情、多発している事故件数、そして、町内全区長、PTA、漁協はじめ各団体の生の声をまとめた要望書を提出し、町民の皆さんの総意としての切実なる熱い思いをぶつけてきました。また、衆・参両議員会館では三重県選出代議士の皆さんにも後押しをお願いに要望書を提出してきました。



三重県庁にて
鈴木英敬知事と

議会広報特別委員会

国道260号早期改良工事
着手への陳情活動

みんなでやっとなで～

町内のがんばっている人を紹介します！



田曾浦区自主防災隊

設立 平成17年
隊員数 15名

田曾浦区には田曾浦区全住民を会員とした田曾浦区自主防災会があります。「住民全員で防災にあたろう」という考えです。その内部組織として、田曾浦区自主防災隊があります。防災に関する活動を中心となって企画そして行動していく実働部隊となります。

発足は平成16年に発生した三重県南東沖地震をきっかけに、消防団とは別組織で、消防団員が手薄になる平日昼間の防災活動を行うべく、また地震対策に特化した田曾浦区単独で動ける防災組織が必要ではないかと考え、平成17年度に立ち上げました。

「住民の防災意識向上」を目的に「災害時には一人の命もなくさない」「自分たちの命は自分たちで守る」「共助の心を育て皆で田曾浦を守る」をかね、住民と共に活動を進めています。

募

集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。
※下記の議会事務局まで

11月27日、「三重県町村議会議長会」が三重県議会に対して町村行政を取り巻く厳しい現状を伝え、県の財政支援を訴えました。要望は「財政基盤の充実強化」「自治の確立」「防災対策の充実強化」「道路交通網の整備促進」など13項目にわたるもので、同議長会副会長の立場で参加した上村議長が、会長不在の中、先頭に立って、県議会の正副議長及び各常任委員長に町村への支援を強く求めました。



議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
倉田 育	河村 健志	東 伊久雄
		掛橋 靖
		田中喜一郎

議長 上村 久仁

議会を傍聴しませんか

3月定例会が開催されます。
開催は**3月2日～3月23日**の予定です。
ぜひ傍聴してください。
(当日、総務課で受付をしてください。)



議会だよりについて
のお問い合わせなどは、
議会事務局までご連絡
ください。

☎ 0599-661781
FAX 0599-2164

今年一年が、皆さま
方にとって幸多い年にな
りますようお祈り申し上
げます。本年もよろしく
お願いします。

今年は、南伊勢町が誕生
して、10年になる節目
の年でしたが、これからも
私たち議会は、よりよい
まちづくりを目指し頑張
ってまいります。

編集後記

